

# 「辻堂駅西口重点整備地区整備計画書 改訂版（素案）」 についてのパブリックコメント実施結果

—ご協力ありがとうございました。—

1 募集期間 平成26年 9月11日（木）～ 平成26年10月10日（金）

2 意見の件数 23件

3 意見提出者数 8人

## 4 内容別の意見件数

※	項目	件数
	計画改定に関する意見	6件
第1章	防災に関する意見	1件
第2章	地区整備方針に関する意見	3件
第5章	道路整備計画に関する意見	3件
		件
		件
		件
		件
	その他の意見	10件
	合計	23件

※「辻堂駅西口重点整備地区整備計画書改訂版（案）」の章番号

5 修正を加えた項目 修正を加えた項目はありませんでした。

茅ヶ崎市 経済部 拠点整備課 拠点整備担当  
☎0467-82-1111（代表）  
e-mail : kyoten@city.chigasaki.kanagawa.jp

## (意見及び市の考え方)

### ■計画全体及び改訂に関する意見（ 6件）

#### (意見1)

これだけ大きな整備計画改訂について説明会等を実施しないのですか。他のパブコメでは学習会、説明会その他情報提供ももっとあるものがあると思いますが。

#### (意見2)

改訂にあたり市民ニーズはどのように把握したのでしょうか。また市民参加はどのように考えていたのでしょうか。全市的にどのように行ってきたのでしょうか。

#### (市の考え方)

今回の改訂にあたり、本地区のまちづくりの方向性について市の考え方を伝え、地域との合意形成を図ることを目的として、平成25年10月から5回にわたり、地元自治会連合会を対象に勉強会を開催し、地元住民の要望などを把握しています。また、周辺住民の方々のご意見に加え、広く市民の方々からご意見を頂くため、パブリックコメントを実施しました。

#### (意見3)

改訂する内容は、当初から予想できなかったのでしょうか。

#### (市の考え方)

近年の社会経済状況の変化に伴う企業再編は、想定されていない事態であり、昭和7年より赤松町にて操業していたパナソニック社の工場閉鎖も同様に想定されていませんでした。また工場跡地を含む本地区の周辺環境も湘南C-Xのまちづくりが進む中で変わってきています。工場跡地の土地利用転換については、平成26年2月に「赤松町地区（パナソニック株A I S社辻堂工場跡地）に係るまちづくりの考え方」を策定したことを受け、平成26年3月に「ちがさき都市マスタープラン」を一部見直しました。これらとの整合を図るとともに、平成18年3月策定時点からの状況の変化を踏まえ、本計画書を改訂しています。

#### (意見4)

改訂にあたり市全体の中で当計画の位置付けも説明してもらいたいです。

(市の考え方)

辻堂駅西口周辺地区については、「ちがさき都市マスタープラン」(平成20年6月)において都市拠点に位置付けられており、広域的な視点に立った拠点にふさわしい将来のまちづくりを推進するため、「辻堂駅西口周辺地区まちづくり基本計画」(平成17年3月)を定めています。本計画書は、「辻堂駅西口周辺地区まちづくり基本計画」の実現を図るため、特に重点的に整備を進めていく地区について、都市基盤施設や土地利用の具体的な整備内容を示したものです。

(意見5)

財政の説明がありませんが、必要ないでしょうか。

(市の考え方)

本地区の整備については、整備内容の実現に向けて検討を進める中で、民間活力の活用を含めた様々な事業手法の検討を行っていきます。検討において、行政による事業化が必要と判断した際には、総合計画等へ政策・施策などの反映をし、予算確保を図っていきます。

(意見6)

全体的には茅ヶ崎市より提示された「整備計画書」(基本構想)の実現に向け強力に進めてほしい。個々問題については、周辺住民の生の声を吸い上げ改善(変更)してもらいたい。

(市の考え方)

平成26年度より、地元自治会連合会を対象として、防災や避難、交通等をテーマに勉強会を開催しており、今後も周辺住民の方々のご意見の把握に努めていきます。

## ■防災に関する意見(1件)

(意見7)

防災・防災地区の取り込み

(市の考え方)

幹線軸の整備による延焼遮断帯の形成や歩行軸の整備による緊急車両の円滑な侵入の実現、災害時に一時的に避難・集合する場所の確保など防災機能の充実を計画しています。

## ■地区整備方針に関する意見（ 3件）

### （意見8）

#### 辻堂駅西口の空き地の利用についての注文

駅周辺には保育園がなく、辻堂駅近辺にある保育園は南側の小和田保育園だけであり、待機児童は現在でも現在80人はいます。パナソニック跡地にマンションが建つとさらに待機児童は増加するでしょう。マンション建設を市が認め、住環境の整備をうたうのであれば辻堂駅近辺に保育園を整備する必要があります。若い世代の75%は共働きであり、藤沢市は辻堂駅近辺に4つの認可保育園を持つため、若い方は藤沢に流れると思います。サポートする施設を市が整備すれば、若い世代を呼び込め、今後の茅ヶ崎市の成長に貢献するでしょう。逆もしかりなのです。

50年後、100年後を考えた整備をぜひ期待したいです。地域に開かれた形の保育園、老人保健施設の併設の保育園施設など長期的視野で、環境整備をしていただきたいです。

### （意見9）

#### 避難所を兼ねた体育館作り

毎年高齢人口が増加していますが、病気になってからでは健康保険の負担増が嵩むので、予防の為に、体力作りを兼ねた場としての体育館を提案いたします。

- ・昼間はラジオ体操、リハビリ、足湯、プール、入浴等が簡単にできる施設（辻堂駅の近くに病院が2か所あり、その辺とのタイアップで）
- ・夜間は一般人を対象にしたスポーツ施設。

地下には、プール、浴室、シャワールーム足湯、貯水槽等を作る（貯水槽の水は体育館の屋根からの雨水と、プールの水を併用して災害時の消火活動に利用する。

### （意見10）

辻堂駅周辺は、以前は藤沢駅と茅ヶ崎駅とに挟まれた閑静な場所で駅を利用する人も少ない駅でしたが近年マンション群、モール街、病院等の建設により人口も増加し、にぎやかや街なみとなってきました。

辻堂駅の茅ヶ崎方向の工場跡地等の再開発計画による人口の増加も考えられ、さらなる発展が予測され大変な結構なことと思料されます。民間の力を利用して計画されているとのことは良いことと思われませんが、昨今の不動産業界の動きからみると時代背景もあり市としてもそれなりの条件を提示して強力なバックアップすることを望む処であります。

### （市の考え方）

辻堂駅西口周辺地区の整備について、本計画や平成26年2月に策定した「赤松町地区（パナソニック株A I S社辻堂工場跡地）に係るまちづくりの考え方」では、大規模敷

地を活用した地区整備の実現や新たな都市拠点の形成や住を中心とした活力と賑わいの創出などを位置付けています。本地区の整備を進めていくにあたり、避難所を補完する一時的な施設の整備として公園・広場などの整備、また赤松町地区の工場跡地については、周辺地域との住居環境の調和といった観点から必要とされる機能の誘導を図るなど、まちづくりの誘導をしていきます。

#### ■道路整備計画に関する意見（ 3件）

##### （意見11）

当地区は、東海道線以南からは車・自転車・徒歩でも非常に行きづらいです。改訂にあたって改めてどう考えたのでしょうか。

##### （意見12）

南北路線の整備について計画書（素案）の類似別案を示したい。

(1) まず、南北路線の南起点は、茅ヶ崎辻堂線の浜竹二交差点まで延ばすべきと考える。

理由1：小和田辻堂線は歩行者が多く道幅も広くなく、近隣商店ゾーンとして発展しており、線路越えの大量の車を裁くには狭すぎる。（現状でも危険な場所がある。）

理由2：海へのルートとして浜竹二交差点以南についても、街並みの発展が期待できる。

(2) 線路北側のルートについても、街並みの発展が期待できる。

理由：工業用地の端の方を通すことで、工業用地の一体的な利用価値が高まり、企業との交渉がまとまりやすい。工場西側の街路の環境変化を小さくして住民との合意もとりやすい。

##### （意見13）

東海道線を南北に貫く道路の充実

南北道路の充実を図る案にはとても賛成です。しかし今までの案と現状はどれも辻堂駅から遠く、特に自転車利用者にとって使いにくいと思います。そこで、自転車、歩行者のみが使える小さな踏切を（トンネルでもいい）、小澤輪業からさくら広場のあたりに作っていただきたいです。

整備計画書の駅に一番近いとされるD、E案とも駅から1kmは離れており、自転車、歩行者にとって甚だ使いにくいのが現状です。南北の人の流れがスムーズになれば、もっと浜竹商店街にも人が流れて活気がでるでしょう。

現在の辻堂駅西口の陸橋は、自転車用スロープの傾斜が南口のスロープより急であり、子供や老人など自転車に乗る人にとっては利用に困難となっています。またエレベーターの大きさが自転車を運べないものとなっています。

辻堂駅なので、藤沢所管かもしれませんが、茅ヶ崎市民の辻堂駅利用者が相当数いるこ

とをみても、もっと茅ヶ崎市としてできることがあったのではないかと思います。そこで自転車、歩行者用の踏切（もしくはトンネル）がぜひとも実現の必要があると考えます。若い世代を支援する意味でも、老人を助ける意味でも歩行者、自転車用の南北道路を一番に作っていただきたいです。

（市の考え方）

J R 東海道線を跨ぐ南北路線については、辻堂駅周辺の南北一体となった市街地形成のために必要な道路であり、東西路線とともに広域道路体系の中で幹線軸として位置付けています。今後、整備に際しては、道路だけではなく、市街地整備を含めた一体的、総合的な検討をしていきます。

■その他の意見（10件）

